



## 「めざせ！あいさつチャンピオン！」小学部の取組

小学部主事 高橋知希子



小学部は中学部、高等部より日常生活の指導の時間が多く設定されています。「日常生活の指導」は着替え、手洗い、排泄、食事、清潔など基本的な生活習慣の内容や、挨拶、言葉遣い、時間やきまりを守ることなど、日常生活や将来の社会生活において必要で基本的な内容を扱います。毎日繰り返しの、家庭と連携することで「できた！」を実感できることが多いです。

4月から登校時同じ場所に立ち、子どもたちと挨拶を交わすことから私の1日が始まります。「自分からタッチした！」「笑顔で目を合わせてくれた！」「先生と一緒に声を出した！」「自分からお辞儀した！」と担任とできるようになってきたことを喜び合っています。子ども同士が挨拶を交わす素敵な場面も見かけるようになりました。

挨拶はコミュニケーションの第一歩と言われます。関わりを広げることにもつながります。小学部の低学年の頃から是非身に付けたい大切な習慣の一つです。今年度一人一人の挨拶の目標を決め、学期ごとに「あいさつチャンピオン」を表彰する予定です。意欲付けをしながら続けていき、習慣化していきたいと考えています。



## 中学部 作業学習週間Ⅰ期（6月7日～13日）

三つの作業班に分かれて、「自分の役割や目標が分かり、作業班の仲間や教師と一緒に最後まで取り組む」「場面に応じた挨拶や返事、報告の仕方を理解する」ことをねらいとして、作業学習週間Ⅰ期を行いました。

### 〈手工芸班〉



担当する工程に、時間いっぱい取り組みました。



仲間とコミュニケーションをとりながら紙すきをしました。

### 〈木工班〉



機械を使うときは、手元をよく見て安全に気を付けました。



先生の近くに行って作業の報告をしました。

### 〈農園芸班〉



暑い中、仲間と協力して苗植えや水やりをしました。



# 高等部 前期実習 6月5日～16日(10日間)

1年生は初めての实習で、丸三化成班と農耕班の2班に分かれて、校内実習を行いました。丸三化成班では、ポリパック(フルーツに被せるキャップ)の折り返しや結束の作業に取り組みました。破れないように力加減を調節したり、上下を揃えたりして仕上がりを意識して作業に取り組みました。農耕班では、にんにくの収穫や根切り、しいたけのほだ木の浸水、畑へのマルチはりなどを行いました。指示を聞いて作業をしたり、道具を正しく使い安全に作業することを意識して取り組みました。また、藤井果樹園さんに行って、りんごの摘果作業も行わせていただきました。

2、3年生は現場実習や地元実習を中心に行いました。現場実習は、学校に登校後、実習先へ徒歩や自転車などで出勤し、退勤後は学校に戻ってから下校します。出勤前や退勤後に事前学習や振り返りを行うことができます。地元実習は、自宅から実習先に出勤し、退勤後は自宅に戻ります。卒業後の生活に近い形で実習を行い、通通勤や家庭での過ごし方などについて望ましい習慣を身に付けるねらいがあります。

現場実習、地元実習では、あいさつや返事、報告、作業態度など、普段の作業学習や校内実習で学んだことを、実際の職場で生かして取り組みました。

実習後の振り返りでは、「学校ではできていたことが環境が変わるとうまくできなかった。」「緊張して声が小さくなってしまった。」などの感想や課題が挙げられました。今回の実習の成果や課題を整理して、今後取り組んでいくことを具体的に行動目標に設定して日々の学習で取り組んでいきたいと思ひます。



【校内実習】丸三化成班  
ポリパックの結束



【校内実習】農耕班  
(さといもの苗植え)



【校内実習】農耕班  
(りんごの摘果)



【地元実習】福祉事業所  
ポリパックの結束



【現場実習】福祉事業所  
洗濯物たたみ



【現場実習】ドラッグストア  
商品の品出し



【地元実習】福祉事業所  
ポリパックの結束



【現場実習】介護施設  
食器洗い等



【地元実習】図書館  
ICタグの取り付け